

歡迎

都知事選
都民と野党の
共同成立

亀井 洋示



No. 600 附録

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫
〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail chian@bz03.plala.or.jp
頒価 50円

来年は治安維持法が公布されてから100年になります。わが同盟は発足してから半世紀余にわたり、「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」を大きな目標に運動を継続・発展させてきました。憲法の精神をいかし、平和と民主主義が国民の共通の願いとして大きく前進し、同盟の「不屈」の闘いはこれに大きく貢献してきました。

しかし、今日の世界の情勢は、歴史の教訓と人々の願いに逆行するロシアのウクライナ侵略、イスラエルによるパレスチナ自治区ガザ地区への無差別爆撃など無法な戦争と紛争、人民弾圧が広がり、日々胸のつぶれるような悲惨な事態が繰り広げられています。

岸田文雄首相はバイデン大統領との共同声明で「米軍と自衛隊の相互運用性強化のため、指揮・統制の枠組み向上」すると明記。米軍と自衛隊を統合し、日本が導入を決めた敵基地攻撃能力の共同運用を狙っています。

憲法違反の「戦争する国づくり」が加速的に進み、「新しい戦前」「新しい戦

中」といえる危険な状況が作り出されています。

一方、自民・公明・維新の各党は、災害時などを理由に緊急事態時の議員任期延長など、改憲策動を強めています。同時に、国連憲章、国際法による戦争の中止・解決を求める大きなうねりが各国に湧き起っています。日本でも「憲法9条」をまもり、戦争国家、軍事国家を阻止し、平和的生存権と人権を守る国民的運動が広がりつつあります。

私たち国賠同盟は、治安維持法の弾圧犠牲者が国民主権と反戦平和を求めた社会変革の歴史の事実と真実を国民に知らせ、弾圧によって命を奪われた先人を中心に戸籍者への謝罪と国家賠償・名誉回復を政府に要求し続けてきました。その半世紀余にわたる運動は、反戦平和・人権擁護の国民の願いと響き合い、確固たる社会的存在を築いています。こうした同盟の運動に確信を持ち、もつと多くの国民に理解と賛同を広げることが求められています。

兵庫版 No.484

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
兵庫県本部

〒650-0022 神戸市
中央区元町通6丁目6-12
山本ビル 国民救援会内
TEL(078)351-0677
FAX(078)371-7376

われわれの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法の復活に反対する。

二、国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること。

三、国は治安維持法犠牲者に謝罪し、賠償をおこなうこと。

県本部第42期 第9回幹事会報告

「第3次上映」を成功させ、地域の隅々に「国賠運動」を届けよう

【第3次上映運動】

【県本部第43回定期総会】

第9回幹事会は5月12日開催されました。会議では映画「伊藤千代子」の連続上映会の計画を確認し、成功とともに国賠運動への理解を広げ、

議員()に、署名提出の紹介議員になるよう要請し、署名を預けました。

【会員拡大】

会員拡大、支部建設の前進をめざそうと意思統一しました。

全国大会、7月の県本部総会めざす「特別期間」の成功の中課題は「会員拡大」です。幹事会では、各支部での自主目標達成、対象者に呼びかける行動

映画「わが青春つきるもの」伊藤千代子の生涯は6月16日から30日の間に10カ所で計画されました。すでに宣伝チラシ6万枚が活用され、折込や団体申入れを通じて配られ、話題になっています。連日のように県本部への問い合わせもあります。大いに話題にして5月31日には、上映会の責任者会議も行われました。

【その他】

幹事会では、定期総会代議員定数、役員選出規定、議事次第、総会議案の骨子などが提案され、確認されました。

【署名運動】

5月15日の「国会請願」には3696筆の個人署名、22の団体署名が結集されました。

明石支部の藤尾美里さんと県本部勝部事務局長の2名が上京し、兵庫県選出国会議員3名(井坂信彦衆議院議員、水岡俊一参議院議員、櫻井周衆議院議員)、

5月15日の「国会請願」には3696筆の個人署名、22の団体署名が結集されました。明石支部の藤尾美里さんと県本部勝部事務局長の2名が上京し、兵庫県選出国会議員3名(井坂信彦衆議院議員、水岡俊一参議院議員、櫻井周衆議院議員)、

【八鹿高校事件50年】



● 日本民主青年同盟兵庫県員会との懇談会が5月23日行われました。

● 第10回幹事会は6月15日(土)午後1時30分・神戸婦人会館で開催されました。

映画「わが青春つきるもの」伊藤千代子の生涯は6月16日から30日の間に10カ所で計画されました。すでに宣伝チラシ6万枚が活用され、折込や団体申入れを通じて配られ、話題になっています。連日のように県本部への問い合わせもあります。大いに話題にして5月31日には、上映会の責任者会議も行われました。

幹事会では、定期総会代議員定数、役員選出規定、議事次第、総会議案の骨子などが提案され、確認されました。

幹事会では、定期総会代議員定数、役員選出規定、議事次第、総会議案の骨子などが提案され、確認されました。

今につながる治安維持法

「横浜事件」が現代に問うもの

5月25日（土）、午後2時から灘区文化センターで表題の学習会を開きました。

DVD「横浜事件 半世紀の問い」（35分）を鑑賞したあと、小牧英夫弁護士（花くま法律事務所）が「お話ししたこと」というレジュメに沿って詳しく解説して頂きました。

私は、「横浜事件」のDVDを予定時間を30分以上延長しましたが、会場からも意見や質問があり、有意義な時間となりました。参加者は14名で、会員外の方には入会を呼び掛けています。

- 「お話ししたいこと」の見出し
- 1. 「横浜事件」の概要
- 2. 治安維持法について
- 3. 治安維持法等による権利侵害の特質
 - (1) 権利侵害の違法性の強さと被害の甚大さ
 - (2) 加害者の責任は不問にされたばかりか、多くが栄転
 - (3) 権利侵害の精神的支柱は反共主義
 - (4) 権利侵害は戦争への道
- 4. 忍び寄る「戦前」
- 5. 治安維持法犠牲者の名誉回復と補償を要求する運動の今日的意義
—権利侵害の歴史的事実を明らかにし、誤りの是正から出発することが大切



見るたびに悔しさと怒りが湧いてきて、感覚的な感想しかうまく表現できなかつたのですが、小牧先生のお話を聞いて、「横浜事件」や治安維持法そのものの仕組みというか果たした役割を整理した形で理解できたように思いました。そして、「治安維持法の権利侵害の典型例」としての「横浜事件」とその裁判の経過を日本の黒歴史として正しく広く伝えていかねばならないことだと強く思いました。

(灘支部 青柿 早苗)

小牧先生は「今は直接的な暴力はなくとも様々な手段で自白を強要して冤罪を生んでいる。日本の司法界の資質は、古い体質を引き継いでおり、人権擁護の砦になつていない。裁判においてどのような判決が出ているのか、よくみておくべきだ」とのべられ、「裁判所の間違った判断をしたことへの批判を市民の側がしていかなければならぬ」と続けられました。眞実を知ることは簡単なことではないにしろ、「はて?」と思う感覚を持つておきたいと思いました。戦後の民主教育もまた、今壊されようとしています。「治安維持法」が、教育現場で正しく教えられているのかと不安になりますが、「拷問による虐殺などない」といわれないよう歴史的事実を刻んでいかねばならないと強く思いました。

貴重な学習会でした。小牧先生、どうもありがとうございました。



治安維持法国家賠償要求同盟 第51回国会請願行動に参加して

明石支部 藤尾 美里



5月15日、国会請願行動に参加するため、西明石駅から新幹線で東京駅に向かいました。富士駅を過ぎたあと晴天の青空に、紺色に白色のくつきりとした輪郭の富士山が見え、心が引き締まります。

丸ノ内線 国会議事堂駅を降り、地上に行くと、そこには国議事堂。全国から集まつた同

盟員140人が、和やかな雰囲気の中で、各地から収集した大気の中での署名を持って、国会請願行動が実ることを願う思いが伝わってきました。

宮本岳志議員の力強い挨拶。国会審議の中を抜けて駆けつけてくれた山添拓議員も、「治安維持法の犠牲者の調査をし、苦しんで生きてこられた犠牲者に国がきちんと謝罪し反省すべきだ」と力強く話されました。

北海道から来られた、生活図画事件の今年102歳の菱谷良一さんが、「認められんでも、何回でも要求していくさ」と、しつかりとした声で訴えられた言葉が、心に刺さりました。

その後、兵庫県は、勝部事務局長と共に、櫻井周衆議院議員、井坂信彦衆議院議員、水岡俊一参議院議員の三名の方の部屋を訪ね、紹介議員になつてくれ

ださるようにお願いし、369筆の署名用紙を託しました。
国会会期中で、秘書の方の対応でしたが、皆さんに集めた署名の束を快く預かっていただき、労いの言葉をいただきました。

高山副会長が4月の大分への帰省時に叔母の田原夏子さん（百歳の新俳句人連盟最長老）宅を訪問した際、「国賠署名」を訴えたところ、提出期限に間に合うようにと従姉妹の田原共子（俳号・丘友子）さんが夏子さんも含めて集めていた署名80筆とともに手紙が届きましたので紹介します。

「とよ」は新俳句人連盟大分県支部の機関紙です。

2024年5月2日 田原共子

前略。署名80名分送ります。「とよ」の常任役員の大伴紀代子さんが自発的にカンパ1000円をしてくれたので、私も1000円 カンパします。ご主人は、3年ほど前に他界し、民青や党的役員をされ、選挙等ではとても声がよく通り、歯切れの良い応援演説をされていた素晴らしい方でした。私の母校である王子中学校の先輩であり、同窓会長もされていました。夫婦ともに、誠実で、紀代子さんは、気配りをとてもされる方で俳句の会員もよく増やしています。署名は「とよ」の常任役員が知り合い等に積極的に声かけをしてくれました。平和俳句事務局長の後藤勝利さんも20名の署名を集めてくれました。

(以下略)

権力犯罪 1974年 11月22日 八鹿高校事件

連載③
田中隆夫



(写真・内務省検閲課長から
青森県知事時代の金井元彦)

以来、事件の根底にある権力の犯罪を実感してきました。大事に保存している1976年2月22日付『兵庫民報』掲載の当時のロツキード事件に関わり元特高警察につながる侵略戦争推進者の責任を追及した主張『県政界と黒い前歴の政治家』をもとに『不屈』3月号で金井元彦と坂井時忠の黒い前歴を紹介しました。この2人が、1974年11月に兵庫選出参院議員と現職知事のとき、知事選挙が行われ、投票日の19日後、八鹿高校事件が起

来町元津での「日高統一刷新有志連」のビラ配布中の「解同」による監禁事件から但馬での異常な事態を知った。続く10月20日～26日の解同による橋本宅監禁事件では、家を取り囲く「解同」から橋本家を守る活動に昼夜参加した。それから、12月1日八木川原での県民集会までの日々を忘れる事はない。

1、金井元彦、坂井時忠元知事の黒い前歴

1972年総選挙で日本共産党は議席を2倍以上にする躍進で野党第2党になります。翌年には民主連合政府綱領案を提案する等、革新自治体が広がり70年代の政治革新の展望を示すなか、75年前半には革新自治体は日本人口の42・5%まで広がります。これに対し、自民党は、公明党を反共戦略に取り込み、日本共産党と革新統一へ攻撃を集中するなど革新分断をはかつています。

こうした中、1974年7月7日参議院選挙兵庫選挙区3名の定数で日本共産党の安武ひろ子が自民・公明に続いての3位で当選を

以来、事件の根底にある権力の犯罪を実感してきました。大事に保存している1976年2月22日付『兵

庫民報』掲載の当時のロツキード事件に関わり元特高警察につながる侵略戦争推進者の責任を追及した主張『県政界と黒い前歴の政治家』をもとに『不屈』3月号で金井元彦と坂井時忠の黒い前歴を紹介しました。この2人が、1974年11月に兵庫選出参院議員と現職知事のとき、知事選挙が行われ、投票日の19日後、八鹿高校事件が起

ます。続いて兵庫県知事選挙が、11月3日投票で闘われます。現職坂井時忠は前回選挙で、金井元彦(当時参院議員)と交代し2期目

となる選挙戦でした。対抗馬として社共統一候補は、現職副知事であった一谷定之丞でした。投票日から19日後に起ころる八鹿高校事件に向けて、教員へのリンチ・暴力犯の解同擁護の社会党と暴力反対を貫いた共産党の共闘は、事件前から大きくなります。

2、但馬で解同の暴力事件進行中、革新分断で知事選挙は坂井知事の再選勝利に

は、まさに革新分断の役割を、知事選挙で果たし、革新統一候補は勝利できませんでした。

3、柳河瀬精著『告発・戦後の反動潮流の源泉特高官僚』(2005年刊)から考える

この著書には、特高たちは、

に、本書を世に問うと柳河瀬は

強調している。治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の立場だ。

こうして1954年12月鳩山

戦後「追放」などされず、政治の中核で生き残り、戦後の跳梁

著者は、大阪府議会議員、治安維持法同盟大阪府本部会長

推進。「日教組内の共産党員グ

内閣の下で教育委員公選制廃止、任用制に改変。1956年

は戦前の諸悪を覆い隠すもの

を歴任、2022年7月20日死

百名、シンパニーワーク三千名」を発表。

で、侵略戦争肯定の立場とハ鹿

高校事件などの権力犯罪を犯したことを覆い隠す立場は表裏一

に、1954年に特定の政党への支持を禁止する「義務教育における教育の政治的中立の確保に関する臨時措置法」と、教育公務員の政治的行為に制限を加えた「教育公務員特別法一部改正法」の2法を成立させる。京都

潮流と闘うためにも、改めて責

任追及の声を大きく上げるため

旭丘中学事件、民主教育弾圧を

まきだと言つても、現在の反動

潮流と闘うためにも、改めて責

任追及の声を大きく上げるため

に、本書を世に問うと柳河瀬は

強調している。治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の立場だ。

著者は、大阪府議会議員、治安維持法同盟大阪府本部会長

推進。「日教組内の共産党員グ

ループ調査」として、「党員は数

維持法同盟大阪府本部会長

を歴任、2022年7月20日死

百名、シンパニーワーク三千名」を発表。

1954年に特定の政党への支持を禁止する「義務教育における教育の政治的中立の確保に関する臨時措置法」と、教育公

務員の政治的行為に制限を加えた「教育公務員特別法一部改正法」の2法を成立させる。京都

金五による「教育の場で、暴力

革命への予行演習」と攻撃す

る。大達の答弁で「明らかに暴

力革命」と答弁、また自治体警

察を廃止・国家警察へもどして

統制を進め

た。戦前の学

校明に「思想局」課

と「彈圧」

は、大達茂雄

(戦前、特高の元締め内務大臣)を文部

池田内閣・文部政務次官に纏

纏繩厚と特高課長として

人びとを弾圧し、

大蔵省に起

纏繩厚三と特高課長として

三二五事件と特高課長として

纏繩厚三と特高課長として

建国記念日の旗振り役を担当した

大蔵省に起

と「彈圧」

は、大達茂雄

(戦前、特高の元締め内務大臣)を文部

池田内閣・文部政務次官に纏

纏繩厚三と特高課長として

纏繩厚三と特高課長として

国旗振り役を担当した

大蔵省に起

と「彈圧」

は、大達茂雄

(戦前、特高の元締め内務大臣)を文部

池田内閣・文部政務次官に纏

より愛国心と自衛のための自發的精神の成長を」と「義務教育学校教職員法案」を準備。警察と公安調査庁と連携で教育の中立性不保持の調査と思想調査を

推進。「日教組内の共産党員グ

ループ調査」として、「党員は数

名、シンパニーワーク三千名」を発表。

と「戦争(犯罪)裁判は野蛮人のす

ることだ」と答弁。彼らが文部省の中枢にすわった時期に、戦

後教育が大きくゆがめられてい

きます。

こうして1954年12月鳩山

内閣の下で教育委員公選制廃止、任用制に改変。1956年

10月教科書検定調査官制度設立。校長の組合脱退、小中高の教頭制度など推進。

池田内閣・文部政務次官に纏

纏繩厚三任命。(元警視庁特高課長・1934年共産党弾圧)を、

勲五等、双光旭日章授与。自民

党内治安対策特別委員文教部会長・兵庫県外事部長、兵庫県警察部長を歴任。衆議院議員。(詳

しくは「戦争と弾圧」一五事件と特高課長・纏繩厚三の軌跡)新日本出版社参照。)

※大達の娘2人は、特高課長

をへた兵庫県知事・坂井時忠、

田島嗣雄と結婚。特高官僚の血

縁関係結合は他にも多く存在。

(この項続く)



No. 600 附録

治安維持法犠牲者
國家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫
〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連総
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail chian@bz03.plala.or.jp
領価 50円

兵庫版 No. 485

治安維持法犠牲者
國家賠償要求同盟
兵庫県本部
〒650-0022 神戸市中央区元町通6丁目6-12
山本ビル 国民救援会内
TEL(078)351-677
FAX(078)371-7376



治安維持法犠牲者國家賠償要求同盟 兵庫県本部第43回定期総会決議案

はじめに

混迷する国際軍事情勢の中で、米国追従の岸田内閣の「戦争する國づくり」の暴走が、日本を戦争の危機に巻き込んでいる。その中で憲法無視の「軍事力大増強」「大増税」の自公政権は、治安維持法犠牲者への国家賠償実現を拒む存在となつており、その転換こそが求められている。

一方で、「憲法9条をまもり」平和と人権確立を求める運動、「立憲野党連合政権」を求める世論も広がっている。われわれの運動への共感は、草の根からひろがり、情勢を開拓する力を蓄えている。来るべき総選挙、来年の参議院選挙などの審判で、大きな変革の波を起こう。

I、内外情勢の特徴と 「国賠同盟」運動の課題

1、アメリカ追随の軍事同盟路線拡大の自公政権

ロシアの軍事力による侵略、イスラエルのジエノサイドは、国際法からも断罪されるべき

本総会は、こうした情勢を開拓する運動を推進し、この一年間の活動をまとめ、教訓を明らかにして新たな方針と予算を決め、その実践の先頭に立つ県本部役員会を確立すること目的として開催される。

治安維持法犠牲者
國家賠償要求同盟

第43回 県本部総会

●2024年7月28日(日)午後1時30分~4時

●神戸まちづくり会館 2階ホール 神戸市中央区元町通4丁目2-14

※総会は、支部選出の代議員・評議員によって構成されます。参加ご希望の方は、支部役員会を通じてご連絡ください。支部のない地域からのご参加は、県本部までご連絡ください。

だが、これを日本の「戦争準備」の口実にすることは許されない。自衛隊を米軍の指揮下にする「軍事同盟」強化をすすめる岸田自公政権を、一刻も早く交代させることが必要である。

2、大軍拡・大増税押しつけ、弾圧・管理体制めざす裏金隠蔽の岸田内閣

自民党的組織的裏金づくりは、金権・腐敗の政治体質を露呈させ、先の衆議院補欠選挙での大敗北を引き起した。しかし、岸田政権は国民の批判を無視し、大軍拡のための大増税路線を、さまざまなかたちで進めていく。その中で国民を監視し、基本的人権を侵す「重要経済秘密保護法」など諸制度が成立させられている。これらは戦前の治安維持法と軌を一にする「弾圧・管理体制」づくりに他ならない。こうした悪政暴走は、市民社会、国民生活との矛盾を深め、抵抗と反撃の国民的運動を呼び起こすものである。来るべき国政選挙は、平和・暮らし・民主主義・人権などで国民の切実な願いが噴き出しているもとで、「國のあり方の根本」を争点とする選挙になる。国民的運動で岸田政権を解散に追い込み、政治的根本的転換を求めて奮闘しよう。

3、共同の前進で政治変革とともに「同盟要求」実現をめざす

継がれている」とことと指摘されている。その最たるもののが、特高官僚の戦後政治への復権であり、兵庫県における「特高出身知事」のハ鹿高校事件への関与に見られる「権力による謀略体質」の温存である。治安維持法犠牲者への謝罪と賠償が無視され続いている現実と表裏の問題である。国賠同盟の運動の歴史的意義と役割を自覚し、平和と民主主義、人権、ジェンダー平等の世論と「再び戦争と暗黒政治を許さない」国賠同盟の運動を結合し、市民と野党の共同で政治変革とともに「同盟要求」実現をめざす。

4、治安維持法公布100年(2025年)にむけ、強大な同盟建設、治安維持法下での「闘い・抵抗」の事跡を発掘し、歴史を引き継ぐ運動を

国賠同盟中央本部は、「2020年代に治安維持法体制に決着をつける」ことを運動課題として提起している。その2020年代の中間となる2025年は、1925年に治安維持法が公布されてから100年目の年となる。さらに運動を広げ、強大な同盟建設で、治安維持法の誤りを告発し、歴史を前へ進めよう。

II、前総会以後の同盟活動と運動

(組織の数字は未確定)

方針

ことが求められている。

「再び戦争と暗黒政治を許さない」のスローガンで政治変革とともに、全国2万人・兵庫1300人会員、県内全域の支部建設、請願署名自主目標（一万5000筆）の達成を

I、前総会以後の同盟活動・運動前進の到達点と教訓（数字は24年9月～24年4月）

①昨年の創立40周年、前総会を起点に、新たな「仲間づくり」の活動に取り組み、9月からの10か月で●●人の加入者を迎える。退会●●人を克服し、7月一日の会員現勢は●●●人と前総会時現勢から●●●人の増勢となつた。

②県下には10支部が活動しており、所属会員数は●●●人と全体の●●●%を占めている。この一年間で7支部が総会を開催し、●支部が年間増勢を勝ち取つた。2月には「支部代表者会議」、4月に組織部会を開催し、支部活動強化をめざした。会員20人以上の地域は7地域に広がつており、新たな支部建設の展望を示している。

③署名運動では、国会請願に3696筆（団体20）を提出。代表2人が要請に参加した。年2回の全会員への署名用紙渡し。支部での団体要請行動。集会での署名行動での訴え、全会員参加の署名運動を、諸活動の基本に据える

- ④尼崎支部が「山本宣治」の学習と墓参の取り組みを通じて「仲間づくり」の前進を図つた。県版「不屈」での女性犠牲者発掘に取り組んできた。加古川での「ニッケ闘争100年」の学習、灘の「横浜事件」学習など支部での学習運動が前進した。但馬での映画「わが青春つきものも」連続上映運動の成功は特筆すべき活動。
- ⑤映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」第3次上映運動

上映運動

全国の上映運動は、10万人規模と画期的な成功を收めている。兵庫県では、2022年に12会場2279人、23年に但馬での連続上映6会場166人が鑑賞した。そして、今年6月の第三次上映会では、10会場に●●●人の参加を得た。県下のトータルは28会場●●●●人となつた。鑑賞を通じての入会者も生まれるなどの教訓を生み出している。

⑥青年分野への働きかけ

5月23日、日本民主青年同盟兵庫県委員会と懇談し、青年分野での同盟運動への理解と共感を広げる活動について意見交換した。青年を対象にした学習会、史跡探訪などの企画を重視し、活動する。

⑦昨年9月の近畿ブロック交流会は、大阪・難波で開催され、兵庫県から10人が参加した。

2、次期総会をめざす運動方針

6月に開催された「中央本部第41回大会方針」の実践を

基本に、兵庫県における運動前進を目指すため、目標と方針を確立する。

① 国会請願署名の活動

(一) 会員拡大と支部建設、支部活動

同盟活動の基本として会員拡大、支部建設・支部活動を前進させる。

① 全国2万人達成にみあう拡大目標!!次期総会までに、確実に1300人達成めざす。

② 新たな支部建設・・・県下全域・全自治体を網羅する支部の創立へ、県本部・幹事が責任をもって取り組む。

③ 総選挙、参議院選挙もにらみ、「市民と野党の共同」前進に向け、支部が市民社会の一員として、草の根からの役割を果たす。

④ 支部活動の促進・・・支部総会の開催(方針と体制確立)、役員会の定期開催、学習活動、「不屈」支部版発行・配布、会費集金の確立などに取り組めるよう、県本部として援助を強化する。そのために「支部長会議」「支部代表者会議」「地域活動交流会」などを計画する。

② 地方議会への陳情・請願活動

地方議会での「治安維持法犠牲者への謝罪・賠償法(仮称)」の制定を求める意見書採択の運動を再構築する。「犠牲者への謝罪と賠償」は、良心的保守層も賛同できる内容。地方議員の理解を高める機会でもある。「戦争する國づくり」にひた走る自公政権のもと、地方議会での意見書採択は大きな意味がある。県本部と支部が協力し、地方議員とも相談し、地方議会への計画的な取り組みが重要である。

(2) 治安維持法犠牲者への謝罪と賠償を要求する運動

治安維持法犠牲者への謝罪と賠償実現への確かに道は、「市民と野党の共同」による政権交代。そのためにも、総選挙・参議院選挙もにらみ、草の根からの署名運動を広げ、世論を動かし情勢を変える活動を推進する。

憲法改悪の動き、機密保護法、共謀罪新設、集団的自衛権の行使容認など、治安維持法体制復活の危険への反対運動をすすめる。

(3) 犠牲者の発掘・記録・顕彰活動と学習活動

① 県同盟創立40周年記念集会の成果を生かし、各支部での犠牲者顕彰の学習活動を強める。治安維持法公布から100年となる来年に向け、地域から情報発信し、世論を喚起する活動をめざす。

② 犠牲者の発掘・調査・顕彰活動の一環として、「碑石めぐり」、「偲ぶ会」、担当者会議、学習会を具体化する。資料の発掘・保存を促進する。パンフ、DVD「種まく人々」

などを積極的に活用する。また、県本部幹事会で学習会企画も進めていく。

(3) 各地の8・15「戦争展」、「百合子・多喜二祭」、映画「レッド・ページ」、憲法集会など、先達の闘いを継承・発展させている反戦・平和運動の共同の取り組みを推進する。

(4) 年2回発行の「治安維持法と現代」を活用した学習を強める。また、「中央本部が作成する「学習パンフ」を活用し、支部づくり、組織活動、「国賠同盟」そのものを学ぶ学習を重視する。

(5) 【八鹿高校事件50年】今年は、戦後特高官僚が兵庫県知事を歴任するという中で起きた「権力犯罪」＝八鹿高校事件50年の年に当たる。治安維持法犠牲者への謝罪と補償がないだけでなく、謀略、虐殺、拷問、虐待、凌辱の先兵となつた特別高等警察の官僚が、罪を問われるとともに戦後の反動的潮流の影で跋扈してきたことを明らかにする連載を企画している。来年おこなわれる兵庫県知事選挙にむけても、大きな問題提起となる。

(4) 近畿ブロック交流会の兵庫開催を成功させよう

9月23～24日(月・火)、神戸「しあわせの村」で開かれる近畿ブロック交流会に多数参加し、各地の支部活動、署名・会員拡大の運動などを学び、活動にいかす。

(5) 財政活動の確立と強化

同盟の財政活動は、年会費4000円を基本に、健全な同盟活動を支える財政を確立する。前納の比率をさらに高めるよう会員の協力を訴える。

支部は、会費集金、「不屈」の組織配布によって支部の財政活動を強化する。「治安維持法と現代」の普及、「不屈」新春広告をさらに強化する。

(6) 新しい映画「飯島喜美の不屈の青春」(仮題)

「わが青春つきともー伊藤千代子の生涯」上映運動で築いた広がりを生かし、国賠同盟運動の前進をめざす。また、同監督による新作が計画されており、今後の活動と結合させるよう検討していく。

3. 女性分野、青年分野での同盟活動

(一) 女性部の確立と同盟運動の発展を

○県版「不屈」では、治安維持法体制下での兵庫県の女性活動家・犠牲者に焦点を当てた連載を続けてきた。こうした事跡発掘の成果を生かし、女性の同盟活動への参加者を飛躍的に増やす。

○女性の入会を意識的に追求するとともに、支部での女性のつどい・学習などの取り組みを重視し、支部女性部確立、女性役員の登用をめざす。

○11月10・11日(日・月)、愛知県蒲郡温泉のホテル竹島で行われる「第33回全国女性交流会」への参加を強め、県下の活動に生かす。

○母親大会、国際女性デーなど、女性各分野の共同の取り組みへの参加を強め、ジェンダー平等社会の実現をめざす運動を広げる。

(2) 青年分野での取り組みを重視し、県本部青年部の確立をめざす

民青同盟との懇談などで青年分野への接点を広げ、若い世代への意識的な入会呼びかけなどで、青年の活動参加の可能性が広がった。今後、学習の呼びかけなど強め、さらに青年会員の拡大を追求する。県本部青年部確立をめざす。

4、県本部役員体制、支部役員体制の確立

強固な県本部役員体制を支部を基礎に確立する。県版「不屈」の編集・発行体制を重視する。機敏で正確な実務に対応する事務局体制づくりも意識的に追求する。

全会員が地域で活動に参加できる支部を、すべての地域で確立することが、県全体の運動前進の保証ともなる。すべての支部が年一回の支部総会、月に一度の支部役員会を定例で開催し、支部行事を企画し、署名、会員拡大、学習、事跡発掘・顕彰の活動を持続的に行えるよう、計画的な後継者づくり、運動の継承を意識し、支部役員体制確立をめざす。

おわりに

世紀の悪法「治安維持法」から来年で100年。この過ちを正してこそ日本国憲法どおりの「平和」「人権擁護」「民主主義」の日本に向かう道が切り開かれる。わが国の政治のゆがみが、対米従属と財界中心に根源を持つと同時に、戦前の政治体質が引き継がれおり、国民を分断する「反共」

の温床となつてゐる事実に照らせば、治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を求める私たちの運動は、歴史の大義に沿うものである。「再び戦争と暗黒政治を許さない」のスローガンのもと、仲間を増やし、賛同を広げ、勇躍奮闘しよう。



権力に抗して
声をあげたて女がいた！

もう一度見たい…
前は見逃した…
という方もぜひ！

あの感動をもう一度…

連続上映会

わが青春つきるとも

—伊藤千代子の生涯—

月 日	曜	地域	会 場	上 映 時 間			定員
6月16日	日	西播	姫路労働会館 姫路市北条一丁目98番地	10:00	14:00	—	60
6月20日	木	中央	こうべまちづくり会館(2Fホール) 神戸市中央区元町通4丁目2-14	10:00	14:00	—	80
6月21日	金	東灘	御影公会堂 神戸市東灘区御影石町4丁目4番	10:00	14:00	—	200
6月22日	土	明石	魚住市民センター 明石市魚住町西岡500-1	10:00	14:00	—	100
6月24日	月	西宮	西宮市民会館(中ホール) 西宮市六湛寺町10-11	—	14:00	18:30	100
6月25日	火	灘	日本共産党東灘・灘・中央地区委員会 神戸市灘区灘南通5丁目2-2	10:30	14:00	18:00	40
6月28日	金	尼崎	尼崎市女性センター・トレピエ 尼崎市南武庫之荘3-36-1	—	14:00	—	80
		東灘	東灘区文化センター(9階多目的ホール) 神戸市東灘区住吉東町5丁目1-16	—	—	18:00	90
6月29日	土	加古川	東播磨生活創造センター「かこむ」 (講座研修室) 加古川市加古川町寺家町天神木97-1	—	13:30	18:00	90
6月30日	日	長田	兵庫文化センター(講習室) 神戸市兵庫区羽坂通4丁目1-1	10:00	14:00	—	72

上映協力金 ①一般1000円 ②高校生以下・障がい者は無料

当日、各会場受付でお支払い、ご精算ください

お問い合わせ・連絡先—治安維持法犠牲者国賠同盟兵庫県本部

〒650-0022 神戸市中央区元町通6-6-12 山本ビル 国民救援会内
(電話 078-351-0677 FAX 078-371-7376) 担当・勝部 (090-8652-2502)

戦争と無権利の時代、 反戦と主権在民を掲げ闘いに燃れた 若き女性の真実の物語

日本は1925年代(昭和初期)、絶対的天皇専制軍事ファシズムのもと国民は天皇の臣民(天皇の家来)とされ、貧困と無権利の状態に置かれていました。

支配体制を強める絶対的天皇専制政治は中国への侵略を本格化し、1925年に治安維持法を成立させ、共産主義者、社会主義者、労働組合・農民組合、知識文化人などを思想犯罪者として逮捕し拷問を加え弾圧したのです。

多くの若き社会活動家が治安維持法で命をおとしました。伊藤千代子もそうした活動家のひとりでした。

この映画は伊藤千代子をはじめ、この厳しい時代に社会変革への志をもち、必死に生きた人々の真実の物語です。

小林多喜二と伊藤千代子 ～時代が結んだ青春～

1928(昭和3)年、日本で初めて25歳以上の男性のみの普通選挙が行われました。このとき伊藤千代子は、北海道から出馬する労農党の候補者・山本懸藏の選挙資金を用立てるなど活動に参加しました。

一方、小樽では小林多喜二らが「われらの山懸」を迎え、たたかいの火ぶたが切られました。選挙応援の機会が巡ってきた多喜二是羊蹄山の麓へと吹雪をついて突き進み「俺たちの運動は何代がかりだなあ」と…。(小林多喜二『東俱知安行』より)

同時代に、小林多喜二と伊藤千代子は目に見えない糸で結ばれながら、社会変革への息吹を胸一杯に吸うでした。

二人が、もし特高警察の弾圧で生を絶たなければ、どんなに素晴らしい人生を切り拓いていったことだろう。



小林多喜二
(1903~1933年)
伊藤千代子
(1905~1929年)

賛同団体

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 日本国民救援会 日本婦人団体連合会 婦人民主クラブ 新日本歌人協会
全日本年金者組合 全日本年金者組合東京都本部 全日本民主医療機関連合会 宇治・長野・大阪・東京各山宣会



第40回(2022年度)日本映画復興賞

独立プロの伝統を引き継ぎ、故山本薩夫監督提唱の民主的映画運動の栄誉賞である「日本映画復興賞」の第40回(2022年度)「復興賞」は、「わが青春つくるとも—伊藤千代子の生涯」の桂壮三郎監督とこの映画の製作・上映運動を進める「畠田重夫記念「映画製作を支援する全国の会」に与えられました。

本映画は映画的リアリズムを追求し、製作者達は真摯な気持ちで作品に対峙し撮影されました。

伊藤千代子役にはオーディションで選ばれ本作品で映画デビューする新人・井上百合子。

その他主要なキャストには、窪塚俊介が複雑な革命家、浅野晃を見事に演じているほか、土屋文明に金田明夫、そして石丸謙二郎が冷徹な特高を演じています。

また、東京女子大の学長、安井てつ役で竹下景子が出演。その他、若手新人女優が多数出演。

監督には、映画「校庭に東風吹いて」等製作した社会派監督桂壮三郎がメガホンをとっています。

日本 125分 カラービスタビジョン作品
©2022映画「伊藤千代子の生涯」ゴーゴーピュージャル企画

『婦人論』読んで、 ジェンダー平等へのめざめ

「女が勉強して何にならざか」という風潮の中で、向学心に燃えた千代子は、諏訪高等女学校で土屋文明から薫陶を受け、仙台・尚絅女学校では自由・平等の新しい社会思潮にふれ、そして臨んだ東京女子大でベーベルの『婦人論』に出会い、「これだ」と感動した千代子は、郷里の友に書き送る。

「女人人が覚める時、男子の催眠術から、
そして自己の自己に対する
催眠術から覚める時、
どんなにすばらしい世の中が
展かれて来るでしょう」

(1925年12月発信の手紙から)



受賞記念の「盾」